

二極化する旅行スタイル ～個人旅行客を取り込むための工夫～

上海事務所長 山下 一輝

1. 中国人訪日客の旅行スタイルの変化

2018年の中国からの訪日客は838万人¹となり、4年連続で世界第一位となったが、JNTO 上海事務所によると、最近の中国人の訪日旅行スタイルは、高所得者層がよりお金をかけて日本旅行を深掘りする「深度游」と、格安航空（LCC）やクルーズ船などを利用した格安ツアーでお金をかけずに旅行する「格安旅行」の二極化の傾向が見られるそうである。この背景の一因としては、中国人の個人旅行ビザ取得要件の緩和がある。実際、在外公館の中で最大のビザ発給件数を誇る在上海日本国総領事館においては、2019年1月～6月のビザ発給数のうち8割が個人旅行ビザであり、今後もこの割合は増加すると見られている。

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると、2018年の中国人訪日客の約8割は関東・中部・関西を巡る「ゴールデンルート」を訪れている一方、本県を含む九州への訪問比率は1割未満とまだまだ低い。しかし、個人旅行客が増加し、訪日リピーターが増えることによって、今後、ゴールデンルート以外の地域における訪日客の拡大が期待できる。

2. SNSの重要性と当事務所 SNS フォロワーの分析について

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、訪日旅行前に得た情報源で役立ったものは、中国では「SNS」（25.9%）、「友人や親戚からの情報」（19.5%）の順となっており、友人・親戚や口コミなどの情報を重視する中国社会の特徴を表す結果となった。このため、当事務所としても、微信（中国版LINE）や微博（中国版Twitter）などのSNSを活用したタイムリーな観光情報の発信に努めている。

当事務所の微博のフォロワーについて分析したところ（表1）、年齢構成別では、25～39才の男女で約6割、同年齢の女性だけで約4割を占める。地域別では、上海

<男女別・年齢別フォロワー構成比率>			<地域別フォロワー比率>	
	男	女	地域名	比率
0歳～17歳	3.0%	5.7%	上海市	35.3%
18歳～24歳	5.5%	7.8%	北京市	15.3%
25歳～29歳	8.3%	14.5%	広東省	9.6%
30歳～39歳	15.6%	25.2%	江蘇省	6.9%
40歳～49歳	4.4%	3.8%	浙江省	4.8%
50歳～59歳	1.0%	0.5%	その他	28.1%
60歳～	2.2%	2.5%		

（表1）上海事務所の微博（ブログ）フォロワー属性分析

¹ 出典：日本政府観光局（JNTO）

市・北京市・広東省・江蘇省・浙江省で約7割を占めている。これは、個人旅行ビザ発給数が中国最大の上海総領事館（上海市、江蘇省、浙江省等を管轄）や、それに次ぐ北京大使館、広州総領事館（広東省等を管轄）の所管地域と一致していることから、訪日リピーターとして見込まれる層がフォロワーになっている可能性が高い。

このような分析結果をもとに、当事務所をはじめとする在上海九州自治体事務所等で構成するチーム九州は、訪日リピーターの潜在層にアプローチするための観光 PR イベントを積極的に実施している。同様の読者層を多数抱える日本旅行の専門紹介雑誌「行楽」と連携し、本年1月に上海市内で各県の銘酒の試飲会を取り入れたイベントを実施したほか、九州観光推進機構による中国人向け旅行情報誌「九州物語」の発刊を受け、6月には上海総領事館で九州観光 PR イベントを実施、マスコミで報道されるなど注目を集めた。

3. 福岡へ個人旅行客を取り込むための方策

中国の旅行関係者に、中国人は何を求めて福岡に旅行に来ているのか聞いたところ、従来の「買い物」「グルメ」といった意見に加え、「美容室」という声も聞かれた。厚生労働省「平成29年度福祉行政報告例」によると、本県は全都道府県中、美容室数が7番目に多い。中国では「理容師・美容師」の国家資格は存在せず、誰でも美容師として働くことが可能であり、美容室によって提供されるサービスの質は千差万別である。上海で「日式（日本式）美容室」といえば、高い美容技術や丁寧なサービスを提供する店といったイメージがあるため、美容に対する意識の高い20代～30代の女性向けに、「美容室の多い福岡への週末旅行」といった売り込み方も面白いかもしれない。

また、中国では次から次に新しい SNS サービスが生まれているため、どのサービスを使って、どのようにマーケティングするかも重要だ。最近では、中国発の動画共有サービス「TikTok（中国名：抖音）²」を使って観光資源を PR する動きが出てきている。兵馬俑で有名な中国西安市は、同サービスと連携してハッシュタグキャンペーン³を実施したところ、西安市の「大唐不夜城」が夜のライトアップ映えするとのことで、タグ付けされた投稿動画の総視聴回数は15.2億回を超え、新たな人気観光スポットとなっている。

当事務所では、中国人の訪日観光に関する最新動向について情報収集しており、訪日客誘致に関心のある県内市町村や企業の皆様には、当事務所に相談していただくとともに、当事務所の SNS も積極的に活用していただきたい。

² 全世界で10億ダウンロードされている中国発の短編動画共有アプリ。中国国内における1日のアクティブユーザー数は1.5億人と言われており若者を中心に急速に普及している。

³ 投稿動画に「#（ハッシュマーク）」と特定のキーワードを入力して投稿することを促すキャンペーン。キーワードがタグ付けされることで動画検索ができ、同じ興味を持つユーザーと情報共有が可能。